

Title	坂口昂吉先生略歴・主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1997
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.66, No.3 (1997. 3) ,p.147(467)- 154(474)
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19970300-0147

坂口昂吉先生略歴・主要著作目録

【略歴】

一九三二年七月八日 東京に生まれる

職歴

一九五九年四月 慶應義塾大学文学部 副手

一九六一年四月 同 助手

一九六七年四月 同 専任講師

一九七〇年四月 同 助教授

一九七五年四月 同 教授

一九八三年四月 慶應義塾大学大学院 文学研究

学歴

一九五一年三月 東京教育大学付属高等学校卒業

一九五六年三月 慶應義塾大学文学部卒業

一九五八年三月 慶應義塾大学大学院文学研究科

修士課程終了

一九六一年三月 慶應義塾大学大学院文学研究科

博士課程単位取得退学

一九七五年—七六年

イタリア政府留学生としてロー

マ大学に留学

兼任講師

洗足学園大学・同短大

清泉女子大学

聖アントニオ神学院

山口大学

【著書】

- (1) 『地中海世界と宗教』(編著) 一九八九年三月 慶應大学地域研究センター
- (2) 『中世キリスト教文化紀行』一九九五年六月 南窓社

【訳書】

- (1) コンラート・ブールダツハ著 『宗教改革・ルネサンス・人文主義』 一九七四年一月 創文社
- (2) 『アウグスティヌス著作集』8 「ドナティスト駁論集」(共訳) 一九八四年十一月 教文館
- (3) マルセル・パコー著 『テオクラシー(中世の教会と権力)』(共訳) 一九八五年五月 創文社
- (4) ヴェルナー・デットロッフ著 『中世ヨーロッパ神学』 一九八八年一〇月 南窓社

【論文】

- (1) 「ボナヴェントゥラとアリストテレス哲学の関係(上・下)」 一九五九年七月 史学三三二卷二号
一九五九年十一月 史学三三二卷二号

- (2) 「オクスフォードにおけるアリストテレス禁令について」 一九六一年七月 史学三四卷一号
- (3) 「晩年のボナヴェントゥラとアリストテレス哲学の関係」一九六一年一〇月 中世思想研究四号
- (4) 「ボナヴェントゥラの教皇論」 一九六四年十一月 史学三七卷三号
- (5) 「ボナヴェントゥラのフランシスコ伝について」 一九六六年三月 史学三八卷四号
- (6) 「フランシスコ会における党派対立の原因について」 一九六六年十二月 史学三九卷三号
- (7) 「初期フランシスコ会の形態に関する一考察」 一九六八年六月 史学四一卷一号
- (8) 「アシジの聖フランシスコと宗教運動」 一九六九年三月 史学四一卷四号
- (9) 「アシジの聖フランシスコとカタリ派」 一九七〇年三月 史学四二卷四号
- (10) 「修道会改革——シトー会・托鉢修道会——」 糸永寅一他編『ヨーロッパキリスト教史』3 一九七一年六月 中央出版社
- (11) 「アシジのフランシスコの清貧理念と社会環境の関係」 一九七三年五月 史学四五卷二号

- (12) 「初期フランシスコ会の教団組織について」
一九七五年六月 史学四六卷四号
- (13) 「アシジの聖フランシスコと学問」
一九七六年十二月 Spazio 七卷三号
- (14) 「ボナヴェントウラの歴史神学とヨアキム・デ・フローレ(1)(2)」一九七七年三月 創文一六〇号
一九七七年六月 創文一六二号
- (15) 「ローマ・カトリック教会の成立とその教皇権理論の展開(1)(2)」一九七七年九月 未来一三二号
一九七七年一〇月 未来一三三号
- (16) 「ボナヴェントウラにおけるヨアキム主義受容の契機について」
一九七七年十二月 言語文化研究所紀要九号
- (17) 「聖ベネディクトゥス会則における Discretio の理念」
一九八二年一〇月 中世研究(上智大学中世思想研究所紀要)創刊号
- (18) 「アウグスティヌスの終末論と中世思想」
一九八三年十二月 言語文化研究所紀要一五号
- (19) 「ベネディクトゥスの会則」
上智大学中世思想研究所編『教育思想史』Ⅱ
一九八四年四月 東洋館
- (20) 「ブルダツハとブルクハルト」
上智大学ルネッサンス研究所編『ルネサンス観の変遷』
一九八五年九月 荒竹出版
- (21) 「ヨアキムの歴史神学とスコラ学者——トマスとボナヴェントウラ——」
上智大学中世思想研究所編『中世の歴史観と歴史記述』
一九八六年十一月 創文社
- (22) 「ボナヴェントウラの歴史神学におけるキリストの位置」一九八七年九月 中世思想研究二九号
- (23) 「聖フランシスコにおける Exire de seculo」
一九八八年一〇月 ボナヴェントウラ紀要五号
- (24) 「フランシスコ会の創立をめぐる」
上智大学中世思想研究所編『中世の修道制』
一九九一年一〇月 創文社
- (25) 「西欧中世における民衆宗教運動と言語」
一九九四年三月 史学六三卷三号
- (26) 「聖フランシスコにおける観想と実践」
牛田徳子他編『観想と実践』
一九九七年三月 言語文化研究所

【共著への寄稿】

- (1) 「カトリック教会の形成」・「中世後期の教会」・
「中世の文化」・「ルネサンス」・「宗教改革」・
「反宗教改革」
森岡敬一郎他編 『歴史(西洋史)』
一九七一年四月 慶應通信
 - (2) 「カトリック教会の成立」・「大学の成立」
有賀弘他編 『政治思想史の基礎知識』
一九七七年五月 有斐閣
 - (3) 「新しい修道会——修道制の理想と組織の変遷——」
梅津尚志他編 『ヨーロッパ文化史』
一九八八年一月 南窓社
 - (4) 「宗教運動・異端運動」・「托鉢修道会とスコラ学」
山本茂他編 『西洋の歴史(古代・中世編)』
一九八八年七月 ミネルヴァ書房
- 【書評】
- (1) C. J. Majchrzak, 'A Brief History of Bonaventuranism', Washington D. C., 1957.
一九五九年七月 史学三二卷二号
 - (2) J. Ratzinger, 'Die Geschichtstheologie des heiligen Bonaventura', München, 1959.
一九六〇年九月 中世思想研究三号
 - (3) G. Strauss, 'Historian in an Age of Crisis—The Life and Work of Johannes Aventinus (1477-1534)', Cambridge Mass., 1963.
一九六五年六月 史学二八卷一号
 - (4) ベーダ、長友栄三郎訳 『イギリス教会史』(創文社 一九六五年)
一九六五年十二月 史学二八卷三号
 - (5) R. B. Brooke, 'Early Franciscan Government', Cambridge, 1959
一九六五年十二月 史学二八卷三号
 - (6) 下村寅太郎 『アシジの聖フランシス』(南窓社 一九六五年) 一九六六年九月史学二九卷二号
 - (7) M. D. Lambert, 'Franciscan Poverty', London, 1961 一九六六年九月 史学二九卷二号
 - (8) F. コプルストン、箕輪秀二・柏木英彦訳 『中世の哲学』(慶應通信 一九六八年六月)
一九六九年二月 日吉論文集(商学部)七号
 - (9) J. Moorman, 'A History of the Franciscan Order',

Oxford, 1968

- 一九六九年十一月 史学四二卷二号
- (10) G. Lefl, 'Paris and Oxford Universities in the 13th and 14th Centuries', London, 1968
- 一九七〇年十二月 史学四三卷二号
- (11) 柏木英彦『アベラール——言語と思维——』(創文社 一九八五年六月)
- 一九八五年十一月 創文二六一号
- (12) R. A. Markus, 'Saeculum——History and Society in the Theology of St. Augustine', Cambridge, 1970
- 一九八七年九月 中世思想研究二〇号
- (13) 長倉久子訳『ボナヴェントウラ——魂の神への道程——註解』(創文社 一九九三年二月)
- 一九九四年九月 中世思想研究三六号
- 【研究ノート】**
- (1) 「中世の大学生生活について」
一九七〇年一〇月 創文八九号
- (2) 「古代教会の成立」
一九七四年二月 聖心の使徒二二卷二〇七号
- (3) 「古代キリスト教徒と学問」
- 一九七四年三月 聖心の使徒二二卷二〇八号
- (4) 「中世初期における文化発展の諸段階」
一九七四年四月 聖心の使徒二二卷二〇九号
- (5) 「トレルチのブルダッハ宛書簡をめぐって」
一九七四年九月 創文二三二号
- (6) 「教皇制の起源」
一九七六年十一月 聖心の使徒二四卷二三五号
- (7) 「中世における教皇制の変遷」
一九七六年十二月 聖心の使徒二四卷二三六号
- (8) 「ルターの宗教改革の端緒をめぐって」
一九七九年一〇月 聖心の使徒二七卷二六四号
- 【シンポジウム提題・司会】**
- (1) 「アウグスティヌスの終末論と中世思想」
一九八三年九月 中世思想研究二五号
- (2) 「中世における神秘思想」
一九九六年九月 中世思想研究三八号
- 【小品】**
- (1) 「ボナヴェントウラのフランシスコ伝について」
一九六四年八月 史学三七卷二号

- (2) 「歴史と言語」 一九七〇年九月 三色旗二七〇号
 - (3) 「西洋史と辞典」 一九七一年四月 三色旗二七七号
 - (4) 「聖者生誕の家」 一九七五年十二月 三田評論七五四号
 - (5) 「キリスト教史理解のために」 一九八三年七月 三色旗四二四号
 - (6) 「歴史のレポート——西洋史教員の立場から——」 一九八九年八月 三色旗四九七号
 - (7) 「クリストファー・ドーンソンをめぐる」 一九八九年十一月 三色旗五〇〇号
 - (8) 「中世ヨーロッパの大学における学生生活」 一九九二年四月 帝国書院 世界史のしおり五六号
 - (9) 「歴史と言語——宗教とは——」 一九九五年五月 三色旗五六六号
 - (10) 「歴史(西洋史)の学び方——時代錯誤の防止のために——」 一九九六年三月 三色旗五七六号
- 【学会講演翻訳】
- (1) ヴェルナー・デットロフ「ボナヴェントゥラとフ
ランシスコの清貧」東京ボナヴェントゥラ研究
 - (2) 所発足式当日(一九八三年一〇月二日)の記念
講演
一九八四年一〇月ボナヴェントゥラ紀要創刊号
ホルスト・ビュルクレ「実存的体験と倫理実践
としての宗教——キリスト教と仏教の対話する
二つの焦点に関する解釈——」東京ボナヴェン
トゥラ研究所第一回シンポジウム(一九八四年
十一月四日)
 - (3) ヴェルナー・デットロフ「ボナヴェントゥラの神
学に対する聖フランシスコの意義」東京ボナ
ヴェントゥラ研究所 第一回シンポジウム(一
九八四年十一月四日)
 - (4) ヴェルナー・デットロフ「ボナヴェントゥラによ
る救いへの道」東京ボナヴェントゥラ研究所
第二回シンポジウム(一九八五年十一月七日)
 - (5) マリアンネ・シュロツァー「照明する闇——ボナ
ヴェントゥラにおける光と闇の間に位置する神
認識——」東京ボナヴェントゥラ研究所 第三

回シンポジウム（一九八六年十一月九日）

一九八七年一〇月 ボナヴェントゥラ紀要四号

(6) ヴェルナー・デットロフ「キリスト教神学における照明の問題——ボナヴェントゥラをめぐる——」東京ボナヴェントゥラ研究所 第三回シンポジウム（一九八六年十一月九日）

一九八七年一〇月 ボナヴェントゥラ紀要四号

(7) ハンス・メルカー「ボナヴェントゥラにおける世界と世界蔑視」東京ボナヴェントゥラ研究所 第四回シンポジウム（一九八七年十一月八日）

一九八八年一〇月 ボナヴェントゥラ紀要五号

(8) ヴェルナー・デットロフ「荒野と清貧——ボナヴェントゥラにおける「空」の思想——」東京ボナヴェントゥラ研究所 第七回シンポジウム（一九九〇年十一月四日）

一九九一年一〇月 ボナヴェントゥラ紀要七号

(9) ヴェルナー・デットロフ「キリスト教における否定神学の歴史と意義」東京ボナヴェントゥラ研究所 第八回シンポジウム（一九九一年十一月四日）

一九九二年一〇月 ボナヴェントゥラ紀要八号

一九九二年一〇月 ボナヴェントゥラ紀要八号

(10) ハンス・メルカー「ボナヴェントゥラにおける道の意義」東京ボナヴェントゥラ研究所 第九回シンポジウム（一九九二年十一月一日）

一九九三年一〇月 ボナヴェントゥラ紀要九号

【学会発表】

(1) 京都大学西洋史読書会（於 京都大学）

一九五八年十一月三日

「ボナヴェントゥラとアリストテレス哲学の関係」

(2) 中世哲学会 第九回大会（於 同志社大学）

一九六〇年十一月一〇日

「晩年のボナヴェントゥラとアリストテレス哲学との関係」

(3) 三田史学会大会（第九回早慶連合史学会）（於 慶応義塾大学）

一九六一年六月二四日

「オクスフォードにおけるアリストテレス禁令について」

(4) 日本西洋史学会 第十七回大会（於 立教大学）

一九六六年五月二二日

「フランシスコ会における党派対立の原因について」

(5) 京都大学西洋史読書会 第三五回秋季大会（於

京都大学)

一九六七年十一月四日

「初期フランシスコ会の形態に関する一考察」

(6) 三田史学会大会(於 慶応義塾大学)

一九六八年十二月十四日

「アシジの聖フランシスコと宗教運動」

(7) 広島史学研究会大会(於 広島大学)

一九七二年一月二八—二九日

「アシジのフランシスコの清貧理念と社会環境の関係」

(8) 広島史学研究会大会(於 広島大学)

一九七六年一月三〇—三一日

「ボナヴェントウラの終末論的歴史理解とヨアキム

主義」

(9) 三田史学会大会(於 慶応義塾大学)

一九七七年一月十五日

「ガイレルムス・デ・サント・アモーレとボナ

ヴェントウラの托鉢修道会論争について」

(10) 中世哲学会 第三二回大会(於 聖心女子大学)

一九八二年十一月二〇—二二日

「アウグスティヌスの終末論と中世思想」シンポジウ

ム提題

(11) 中世哲学会 第三五回大会(於 清泉女子大学)

一九八六年十一月二二—二三日

「ボナヴェントウラの歴史神学におけるキリストの

位置」

(12) 広島史学研究会大会(於 広島大学)

一九八九年一月二九日

「教皇グレゴリウス一世の異教・異端に対する政策

をめぐって」

(13) 三田史学会大会(於 慶応義塾大学)

一九九二年六月二七日

「西欧中世における民衆宗教運動と言語」

(14) 中世哲学会 第四四回大会(於 岡山大学)

一九九五年十一月十二日

「中世における神秘思想」シンポジウム司会